

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	生活文化部
	17058	西野公園改修事業(運動施設)	課名	文化スポーツ課 スポーツ推進G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財	会計
	基本施策	07:スポーツの推進	務	款
	施策の方向	02:スポーツの拠点づくり	科	項
戦略プロジェクト	-	目	目	02:体育施設費
事業予定期間		H 28 ~ H 32 年度	主な根拠法令要綱等	

② 目的・概要	対象	市民
	目的	三重県で開催が予定されている平成30年度の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)及び平成33年の第76回国民体育大会(三重とこわか国体)に向けて、競技会場となる西野公園運動施設の改修を行うことで、一般利用者の利便性向上を図るとともに、大規模な大会等の開催に適した拠点づくりを進める。
概要	国体やインターハイにおいてウエイトリフティング競技と軟式野球競技の開催が予定されていることから、西野公園体育館の床補強工事や野球場改修工事など競技場の整備を行う。また、各大会では、全国から多数の来場者が想定されることから、おもてなしの一環として、タイル改修などの老朽化対策も含めた修繕を行う。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○体育館床補強工事 ○プール改修工事		○野球場整備改修工事 (内野黒土舗装・外野芝生舗装・排水施設整備・バックネット改修) ・設計監理…25,875千円(工事費の15%) ・改修工事 ○野球場周辺環境整備改修工事 1,500千円,925千円	
	年度実績	○体育館床補強工事 ○プール改修工事			
事業費	計画額	事業費	24,600千円		191,200千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	24,600千円	0千円	191,200千円		
予算額	事業費	事業費	23,510千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	23,510千円	0千円	0千円		
決算額	事業費	事業費 ①	23,350千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	23,350千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費 ②	総人件費 ②	768千円		
		一般職員	768千円		
		所要人員	0.10		
		臨時職員等	0千円		
総コスト(①+②)		24,118千円			
受益者負担率		0.0%			

			平成29年度	平成30年度	平成31年度	
④ 指標	①	名称	西野公園運動施設改修工事 進捗率	10	10	90
			実施済み事業費／総事業費	10		
		活動		単位	%	%
	②	名称				
		活動				
	③	名称				
		活動				

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 全国高校総体及び国民体育大会の開催に向け、円滑な運営等ができるような施設整備を進めるとともに、開催を契機とした利用者の利便性向上を図るための改修等を行う必要がある。 指定管理者との連携により改修が必要な箇所を確認し、安全確保や利用状況などから優先順位をつけ、計画的に施設整備を進めていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 H30年度全国高校総体ウエイトリフティング競技大会の開催に備え、体育館床補強工事を優先的に整備を行った。 また、大規模大会の会場整備の一環として実施したプール改修については、プールサイドのタイルの老朽化が激しく、利用者の安全性に支障をきたしていたため優先的に実施をした。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 ほぼ当初設計どおり、遅延なく工事が実施できた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 大会への設備準備が進み、利用者の安全性及び快適性の向上が図れた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 引き続き、老朽化する施設及び設備について安全確保や利用状況などから優先順位を考慮しながら計画的な施設整備が必要。	今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 利用者の声をきき、指定管理者との連携により優先的改修箇所の把握に努める。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 施設の長寿命化、安全性の確保など。	
対応時期		H30年度以降	

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 スポーツ推進グループリーダー 小林 恵太
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小林 恵太